

# 児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表日：令和3年3月20日 事業所名 スパークスタジオ県央

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
																					環境・ 体制 整備
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	0			適切な 支援の 提供	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	1			保護者 への 説明 責任 等	31 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0			
	2 職員の配置数は適切であるか	4	1	0		急病などの職員が重なった場合、対応しきれない部分がある。		17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	0	2	終礼時に事故報告やひやりはつどを含めた情報共有を行っている。	療育の振り返りの時間をどこで確保できるか検討していく。		32 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5	0	0			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	0	1				18 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0				33 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0			
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	0	1		業務内容を見える化するなどの工夫をし、効率よく業務ができるような検討をしていく	19 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	月1回モニタリング会議を行い、該当者の目標、支援内容を評価し、見直している。		34 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	0	4			コロナ等の感染症の関係もあり、保護者会が行えない時に、保護者同士の連携を支援できる方法を考えていきたい。		
	5 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1	0			20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0			35 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	何かあった時には素早く対応をしている。				
	6 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	0	2			21 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	0	0			36 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	0	4			おたより、ホームページ更新の頻度を上げ情報を発信していけるように努める。		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	0	3		今後第三者評価を行う必要がある。	22 医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5	0	0			37 個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	0	0					
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0		スパーク運動療育のオンラインスキルアップ研修を実施した。各委員会による内部研修を実施した。	23 医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	4	0	1	相談支援専門員を通して情報の共有を図っている。		38 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0			スケジュール表、絵カードなどの視覚支援を行っている。		
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4	0	1		モニタリング会議時に計画の見直しだけでなく、アセスメントも改めて行っている。	24 保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	0	0	相談支援専門員を通して情報共有を図っている。		39 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	5					
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2	0		発達アセスメント表の活用を意識して取り入れていく。	25 小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	0	0	相談支援専門員を通して情報共有を図っている。		40 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	0	1			施設内の見えやすい場所に掲示する。		
	11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	0	0			26 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	0	1			41 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0			職員のみで火災の避難訓練、不審者訓練、AED講習を行った。保護者への周知を行っている。その際、ブログの活用も検討していく。		
適切な 支援の 提供	12 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	0	0			27 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	5			42 事前に、予防接種やんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5	0	0					
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	1		リーダーとプロンプターで相談して立案していく。	28 （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0	0	5			43 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	0	1					
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0			29 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0			44 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0			事故報告書、ヒヤリハット報告書の情報共有を行い、再発防止に努めている。		
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	5	0	0			30 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	3	0	2		保護者に療育に参加して頂いたり様子をお伝えしながら、家でも取り入れたくなるようなプログラムを伝えられるようにしていく。	45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	1			外部研修に積極的に参加できるような体制を整えていきたい。		
													46 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3	0	2			現在は該当者がいない。		